



おはなしのへや



ボランティア団体と 共に歩んだ25年。

図書館では、毎月ジャンルの違う本の特集を行うとともに、0歳児が対象の「ぴよぴよおはなし会」、1歳児から2歳児までが対象の「よちよちおはなし会」、幼児・児童を対象とした「おはなし会」など、読み聞かせの催し物を開催しています。平成11年から市内の小中学校での読み聞かせボランティアが始動し、平成16年には読み聞かせボランティアのネットワークを活かして「絵本の広場&子ども劇場」が開催されています。また、平成23年から糸満市教育委員会ではブックスタート事業をスタートし、市内でも人と図書との関わりが育まれてきました。

これらの催し、行事を支えてきたのが地域の読み聞かせボランティア団体の皆さん。

「人と人をつなぐ場」として、憩いの場、コミュニティの場として「交流の拠点」となる図書館を目指してこれからも歩んでいきます。

図書館の行事・催し物の情報は、P19へ



読書の秋、図書館へ行こう

糸満市立中央図書館は、平成9年7月1日に開館して、今年で25年目を迎えました。

中央図書館では、開館以来、蔵書の充実を図るため、図書を整備し、開館当時の蔵書約10万点から、今では3倍となる約30万点まで蔵書を増やしています。

今回は、中央図書館長やスタッフに図書館のことについて話を聞きました。普段知る機会の少ない図書館の裏側を少しだけ紹介します。秋風涼しい11月。食欲の秋、芸術の秋、スポーツの秋。いろいろな秋がありますが、今年は「読書の秋」にして、中央図書館に足を運んでみませんか？

Q 図書館に並んでいる本は誰がどうやって選んでいるの？

図書館に並ぶ本を選ぶことを「選書」と言います。図書館の利用者ニーズや蔵書構成などさまざまな要素を踏まえて、司書などの図書館スタッフが選書用のカタログをみて決定し、毎週平均50冊程度新書が並びます。利用者が興味を持ちそうな本、地域に関係する本などを収集できるよう、日々アンテナを張り巡らせています。

Q 間違えて本が破れてしまいました。どうしたらいいですか？

破れた本は専用のテープやボンドなど、いろいろな道具をつかってスタッフが補修しています。市販のテープを使うと、テープの糊で本が劣化してしまうので注意が必要です。自分で補修せず、そのまま返却してください。本は丁寧に扱ってもらえると嬉しいです。



Q 図書館のフロアに30万点もあるの？

皆さんが普段図書館で目にする図書はほんの一部で約13万点。図書館には、閉架書庫といって古い本や利用頻度の少ない本などを保管する書庫があります。閉架書庫には8万点以上の図書が保管されています。



そのほかにも移動図書館書庫などがあり、合計で約30万点になります。

Q 図書館まで行くのは大変

図書館に行くのが大変という人に向けて次のサービスを実施していますので、ぜひ利用してください。

【移動図書館くろしお号】市内25ステーションを巡回する移動図書館。くろしお号の巡回場所などは19ページを確認してください。

【電子図書館サービス】糸満市立中央図書館利用カードを持っている人を対象に、「糸満市電子図書館サービス」を開始しています。このサービスでは、インターネットを通じて電子書籍の貸出、予約を行うことができます。24時間年中無休で貸出、予約ができるのでぜひ利用してください。

【宅配サービス】体が不自由などで、図書館やくろしお号を直接利用することができない人のために、図書館の図書など自宅まで届けるサービスです。利用の際は、事前に登録が必要です。なのでお問い合わせください。

